

平成24年度応急仮設住宅（プレハブ）入居者健康調査の結果

1 世帯の状況

(1) 世帯人数

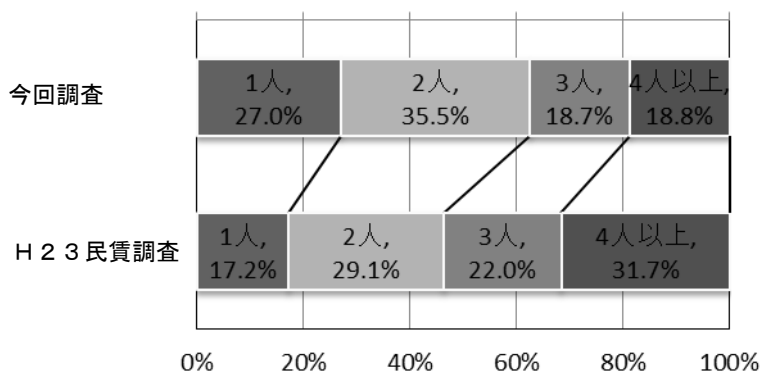
各世帯の世帯人数は、2人が35.5%と最多で、次いで1人が27.0%となっている。平成23年度民間賃貸借上住宅入居者健康調査（以下「H23民賃調査」という。）と比較すると、1人又は2人の世帯が多い。

表1 世帯人数

世帯人数	世帯数 (割合)	H23民賃調査
1人	2,533 (27.0%)	17.2%
2人	3,328 (35.5%)	29.1%
3人	1,755 (18.7%)	22.0%
4人以上	1,750 (18.8%)	31.7%
計	9,366 (100.0%)	100.0%

注) 回答無記入・内容不明のデータは、除外して集計した（以下同じ）。

図1 世帯人数



(2) 独居高齢者世帯

65歳以上でひとり暮らしの世帯は、1,536世帯あり、全世帯の16.4%であった。県平均（平成24年3月末現在で9.2%）、H23民賃調査（6.0%）と比較して高くなっている。

2 調査対象者の属性

(1) 性別・年齢構成

65歳以上の高齢者の割合が34.3%と、県平均（平成24年3月末現在で22.5%）やH23民賃調査（22.0%）と比較して高くなっている。

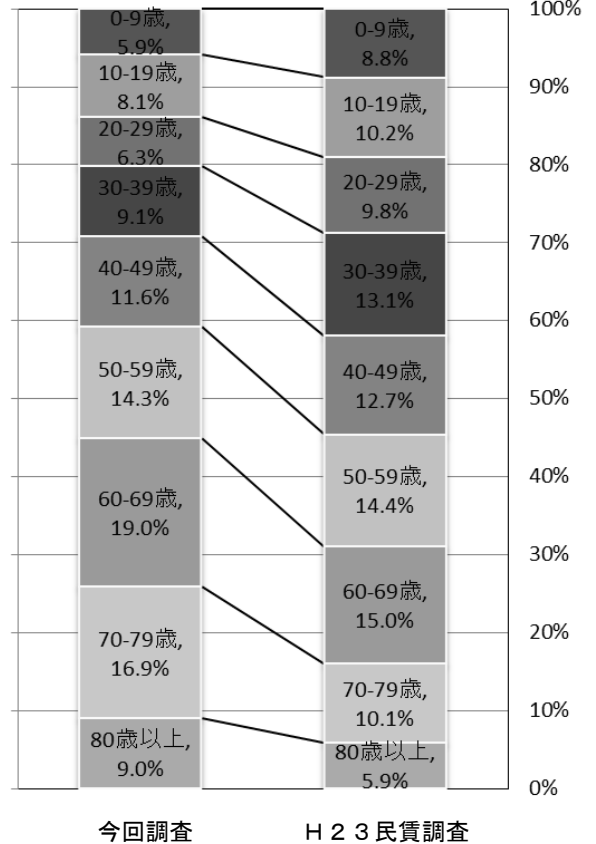
表2-1 性別

	人数 (割合)	H23民賃調査
男性	10,338 (48.2%)	47.5%
女性	11,112 (51.8%)	52.5%
計	21,450 (100.0%)	100.0%

表2-2 年齢構成

	人数 (割合)	H23民賃調査
0-9歳	1,256 (5.9%)	8.8%
10-19歳	1,733 (8.1%)	10.2%
20-29歳	1,342 (6.3%)	9.8%
30-39歳	1,943 (9.1%)	13.1%
40-49歳	2,480 (11.6%)	12.7%
50-59歳	3,060 (14.3%)	14.4%
60-69歳	4,076 (19.0%)	15.0%
70-79歳	3,632 (16.9%)	10.1%
80歳以上	1,928 (9.0%)	5.9%
計	21,450 (100.0%)	100.0%
65歳以上(再掲)	7,347 (34.3%)	22.0%

図2 年齢構成



(2) 職業

職業は、無職が32.7%と最多で、会社員17.2%、主婦12.1%と続いている。H23民賃調査と比較すると、会社員の割合が低くなっている。

表2-3 職業(複数回答あり)

	人数 (割合)	H23民賃調査
会社員	3,565 (17.2%)	22.4%
公務員	261 (1.3%)	3.0%
自営業	1,112 (5.4%)	3.1%
パート・アルバイト	2,056 (9.9%)	7.1%
主婦	2,512 (12.1%)	4.7%
学生	2,113 (10.2%)	14.1%
無職	6,791 (32.7%)	31.1%
農業	278 (1.3%)	14.5%
漁業	916 (4.4%)	
その他	1,136 (5.5%)	
合計	20,740 (100.0%)	100.0%

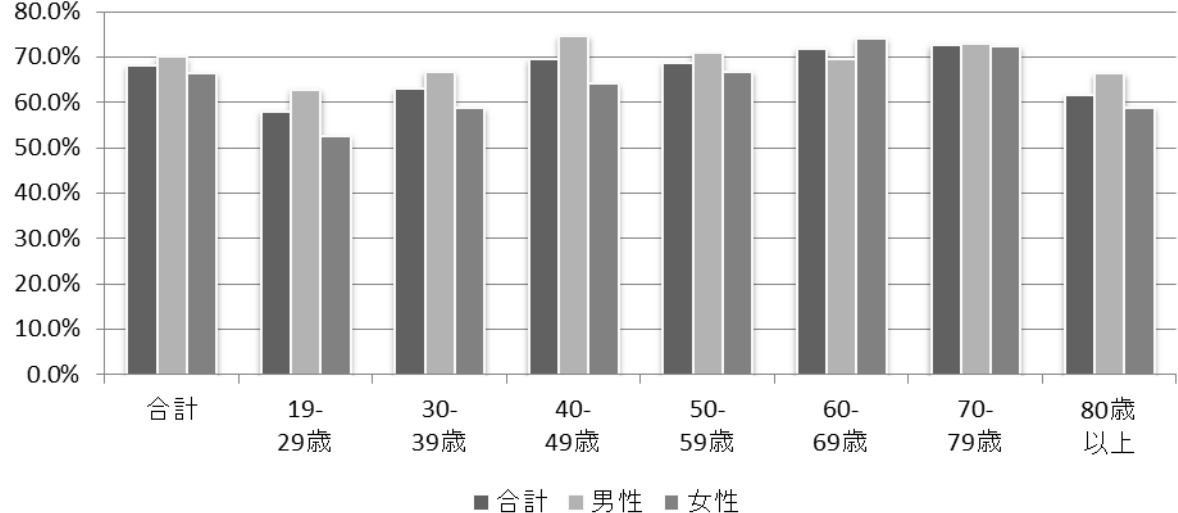
3 健診の受診状況

最近1年間に健診を受けた人は、68.1%である。年代別では若いほど、性別では女性で受診率が低くなっており、19～29歳女性は52.7%、30歳代女性は58.7%となっている。

表3 健診受診状況(対象:19歳以上)

	人数	(割合)
受けた	12,244	(68.1%)
受けていない	5,536	(30.8%)
分からない	200	(1.1%)
合計	17,980	(100.0%)

図3 健診を受けた人の割合



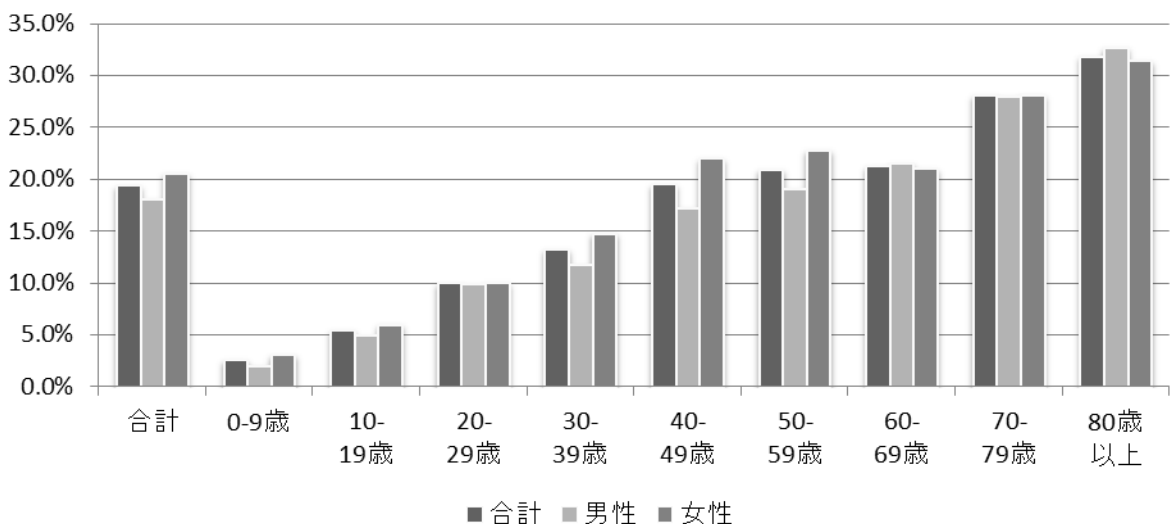
4 体調

体調については、「あまり良くない」、「とても悪い」と回答した人の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。H23民賃調査との比較では、大きな違いは見られない。

表4 体調の状況

	人数	(割合)	H23民賃調査
大変よい	3,544	(17.2%)	14.2%
まあよい	13,032	(63.4%)	66.9%
あまり良くない	3,621	(17.6%)	17.4%
とても悪い	357	(1.7%)	1.5%
合計	20,554	(100.0%)	100.0%

図4 「あまり良くない」と「とても悪い」の合計の割合



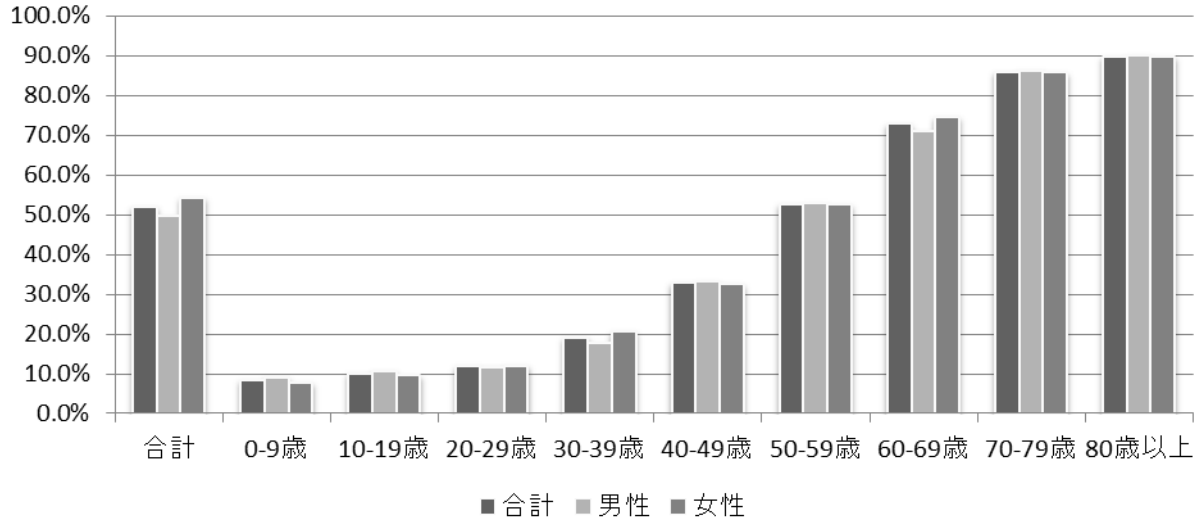
5 疾病の状況

現在、病気がある人の割合は52.0%で、年代が上がるとともに高くなっている。H23民賃調査と比較すると、ほとんどの年代で今回調査結果の方が高い。

表5-1 現病歴の状況

	人数 (割合)	H23民賃調査
ある	10,353 (52.0%)	37.7%
ない	9,561 (48.0%)	62.3%
合計	19,914 (100.0%)	100.0%

図5 病気がある人の割合



病気別でも、すべての病気でH23民賃調査よりも割合が高くなっている。特に、高血圧がある人は27.3%に上っている。

表5-2 病気の種類(複数回答あり)

	人数 (割合※)	H23民賃調査
高血圧	5,846 27.3%	16.9%
糖尿病	1,871 8.7%	5.0%
心疾患	963 4.5%	2.8%
呼吸器疾患	728 3.4%	2.3%
精神疾患	668 3.1%	未調査
がん	594 2.8%	1.3%
脳血管疾患	464 2.2%	1.2%
透析	86 0.4%	0.2%
その他	3,542 16.5%	15.5%

※割合は、有効回答数(今回調査21,450人、H23民賃調査26,626人)に占める割合。

病気があるが治療を受けていない人は、病気がある人の5.8%である。人数は高齢者層で多いが、割合は若年者層で高い。H23民賃調査と比較すると、人数・割合とも高い。

表5-3 治療を受けていない人

		合計	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
今回調査	人数	597	4	15	17	28	38	101	133	183	78
	割合※2	5.8%	4.3%	9.8%	11.6%	8.0%	5.0%	6.7%	4.7%	6.2%	4.8%
H23民賃調査 ※1	人数	210	2	14	18	16	32	44	44	31	9
	割合※2	2.2%	1.0%	6.8%	8.1%	3.3%	3.8%	2.6%	1.8%	1.5%	0.7%

※1 H23民賃調査では、「震災により治療が中断している」と回答した人の数。

※2 割合は、年代ごとの病気がある人数に占める割合。

6 心の問題

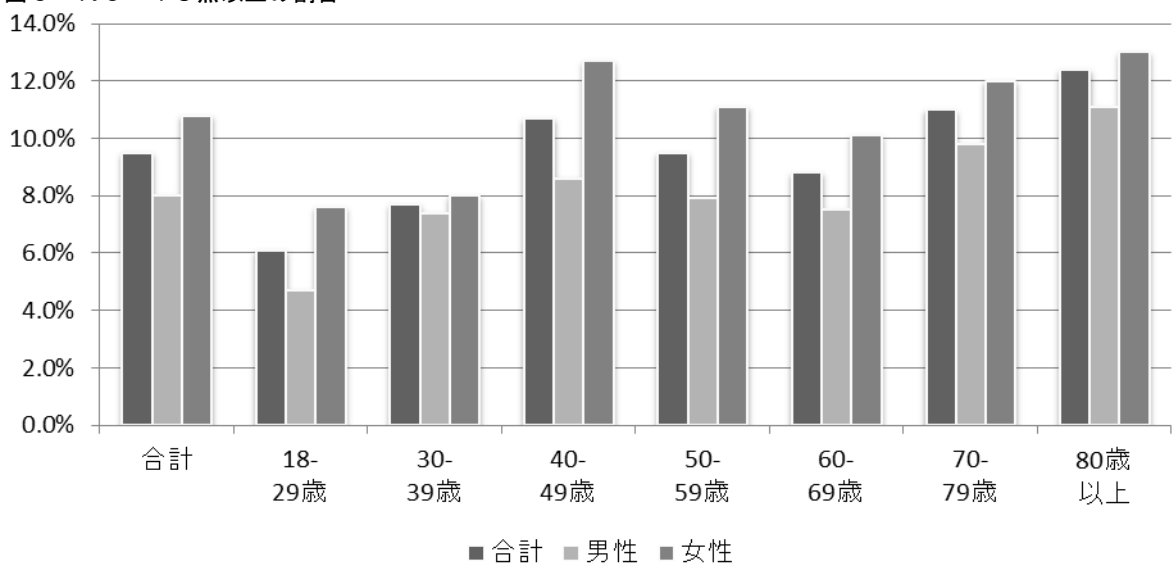
不安、抑うつ症状を測定する指標であるK6で見ると、「重症精神障害相当」とされる13点以上の割合は全体で9.5%である。全体的に女性が高く、80歳以上の女性が13.0%、40歳代女性が12.7%となっている。H23民賃調査との比較では、大きな違いは見られない。

表6 心の状況(K6, 対象:18歳以上)

	人数	(割合)	H23民賃調査※
13点以上	1,374	(9.5%)	9.6%
10-12点	1,378	(9.5%)	9.5%
5-9点	3,812	(26.3%)	27.8%
5点未満	7,930	(54.7%)	53.1%
合計	14,494	(100.0%)	100.0%

※18歳未満の人を対象から外して集計し直したため、前回の報告値と異なっている。

図6 K6 13点以上の割合



K6は6項目24点満点で、得点が高いほど不安、抑うつなどの心理的苦痛が高いことを意味する。合計点数5点以上が「心理的ストレス相当」、10点以上が「気分・不安障害相当」、13点以上が「重症精神障害相当」である。

平成18年に全国2,000人を対象とした(分析は欠損値のない1,183人)全国調査では、5点以上が28%、10点以上が8%、13点以上が3%であった。(川上憲人. 全国調査におけるK6調査票による心の健康状態の分布と関連要因. 平成18年度厚生労働科学研究費補助金「国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究」分担研究書)

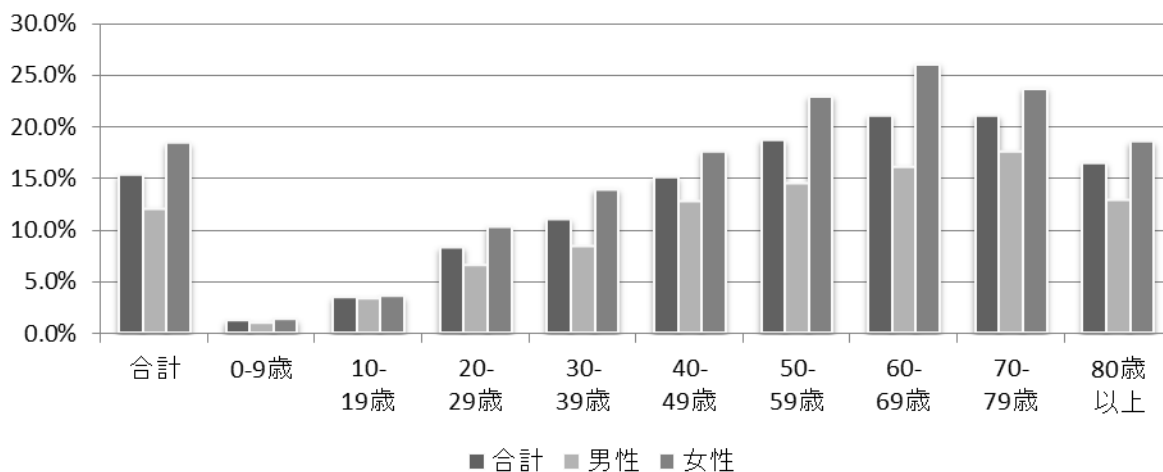
7 不眠の状況

眠れない人の割合は、全体で 15.3%である。男女別では女性が高い。年代別では60歳代が最も高くなっており、60歳代女性は 26.1%となっている。H23民賃調査との比較では、大きな違いは見られない。

表7 不眠の状況

	人数 (割合※)	H23民賃調査
眠れない	3,286 (15.3%)	15.2%

図7 不眠の割合



※割合は、年代ごとの有効回答数に占める割合。

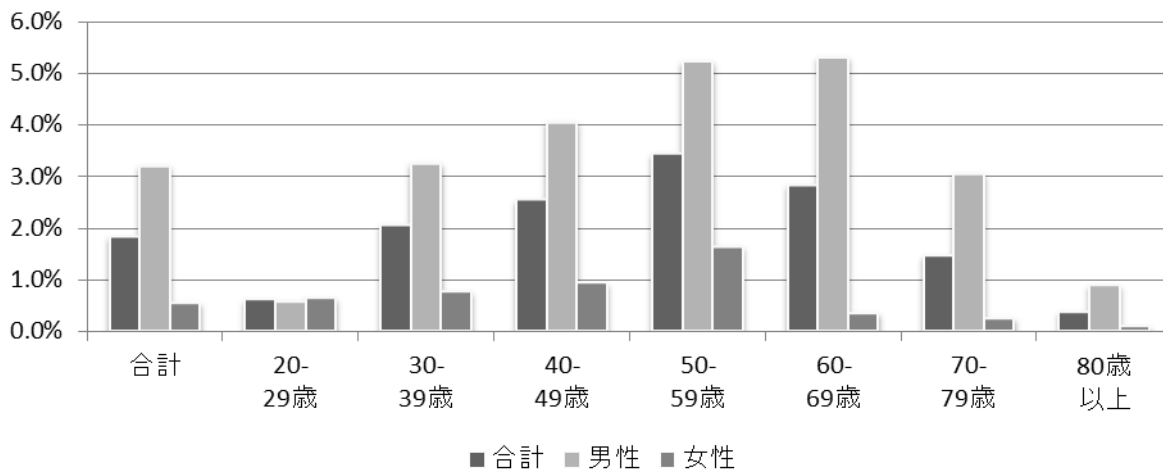
8 飲酒の状況

朝又は昼から飲酒することがある人の割合は、全体で 1.8%である。50歳代男性で 5.2%、60歳代男性で 5.3%と最も高くなっている。H23民賃調査では、全体で 1.0%、50歳代男性で 3.4%、60歳代男性で 3.5%であった。

表8 飲酒の状況

	人数 (割合※)	H23民賃調査
朝から飲酒	391 (1.8%)	1.0%

図8 朝又は昼から飲酒することがある人の割合



※割合は、年代ごとの有効回答数に占める割合。

9 食欲及び体重変化の状況

食欲がない人の割合及び体重が減少した人の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。他方、体重が増加した人の割合は、30歳代から60歳代で高くなっており、50歳代女性では33.7%となっている。

表9 食欲及び体重変化の状況

	人数 (割合※)	H23民賃調査
食欲がない	749 (3.5%)	2.9%
体重減少	2,692 (12.6%)	未調査
体重増加	4,246 (19.8%)	未調査

図9-1 食欲がない人の割合

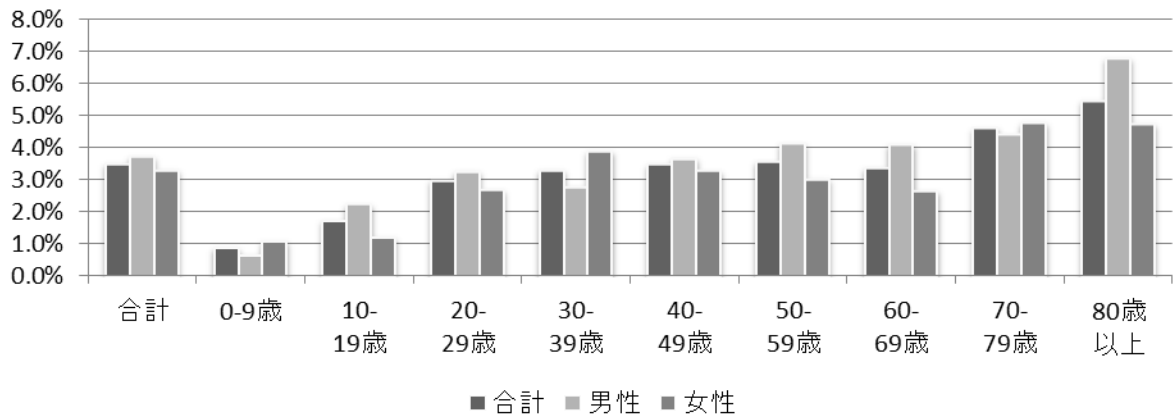


図9-2 体重が減少した人の割合

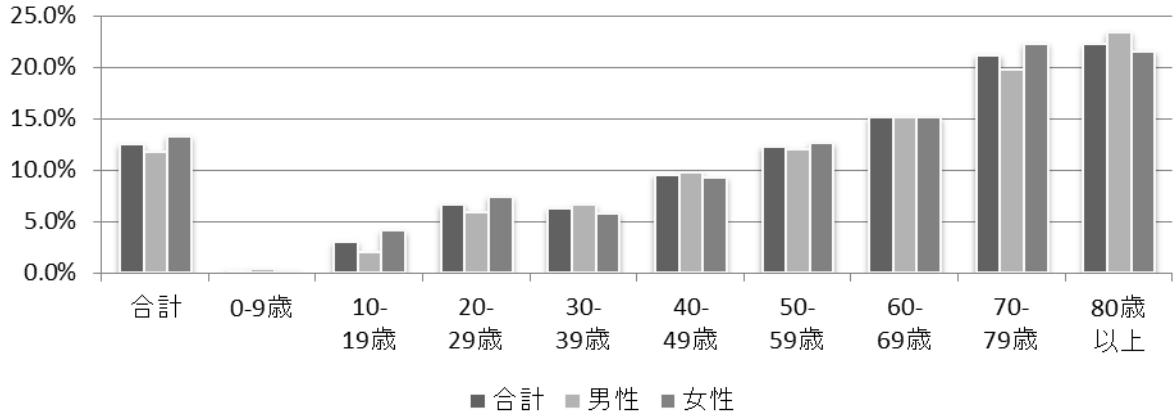
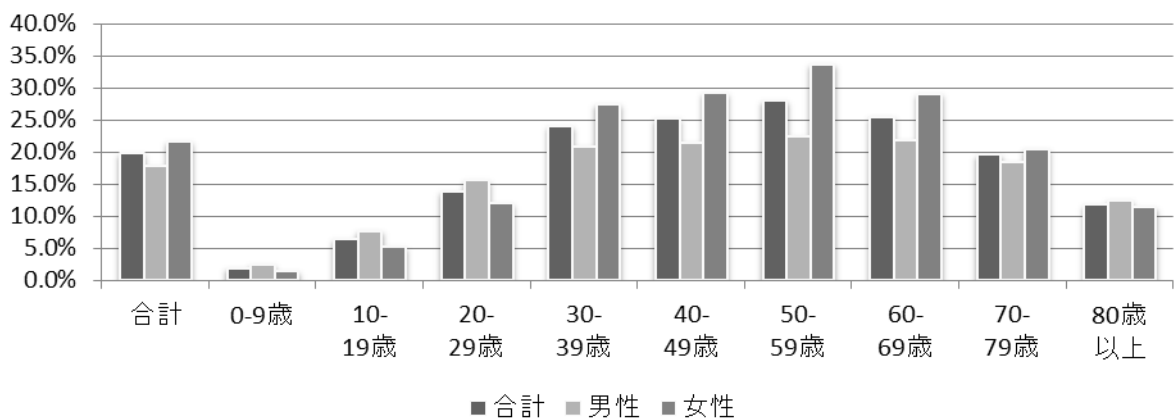


図9-3 体重が増加した人の割合



※割合は、年代ごとの有効回答数に占める割合。

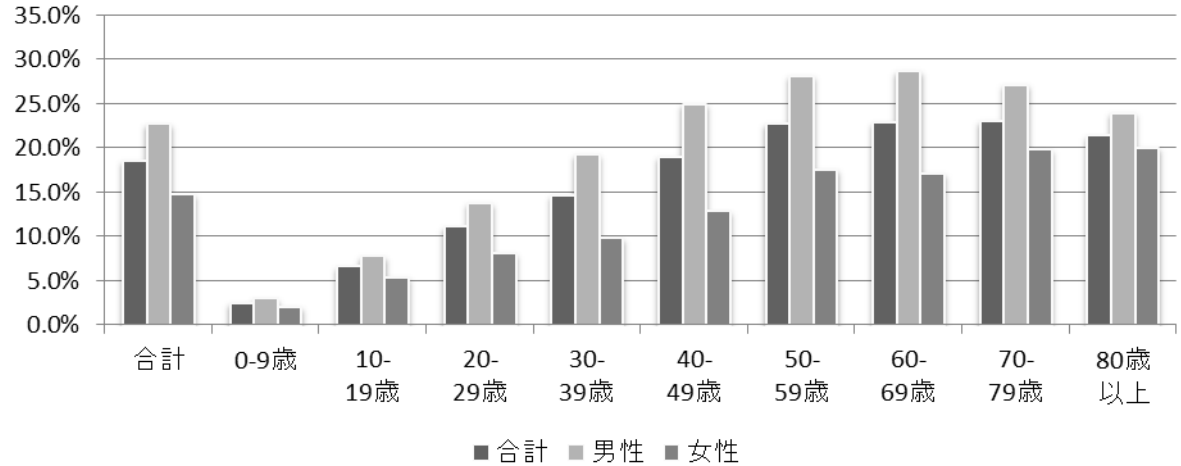
10 相談相手の有無

相談相手がいない人は全体では18.5%であるが、50歳代男性で28.1%、60歳代男性で28.6%、70歳代男性で27.1%と高くなっている。H23民賃調査との比較では、大きな違いは見られない。

表10 相談相手の有無

	人数 (割合)	H23民賃調査
いる	14,722 (81.5%)	81.6%
いない	3,343 (18.5%)	18.4%
合計	18,065 (100.0%)	100.0%

図10 相談相手がいない人の割合



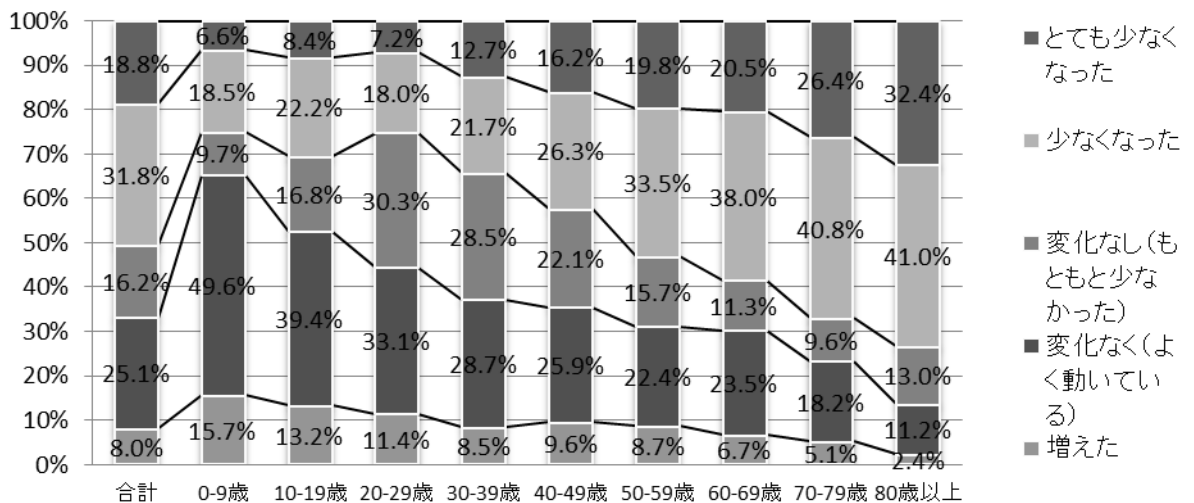
11 体を動かす機会の変化

震災前に比べて日頃の生活で体を動かす機会が「とても少なくなった」、「少なくなった」と答えた人の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。H23民賃調査との比較では、大きな違いは見られない。

表11 体を動かす機会の変化

	人数 (割合)	H23民賃調査
とても少なくなった	3,556 (18.8%)	18.1%
少なくなった	6,012 (31.8%)	28.3%
変化なし(もともと少ない)	3,071 (16.2%)	21.1%
変化なし(よく動く)	4,755 (25.1%)	26.8%
増えた	1,522 (8.0%)	5.7%
合計	18,916 (100.0%)	100.0%

図11 体を動かす機会



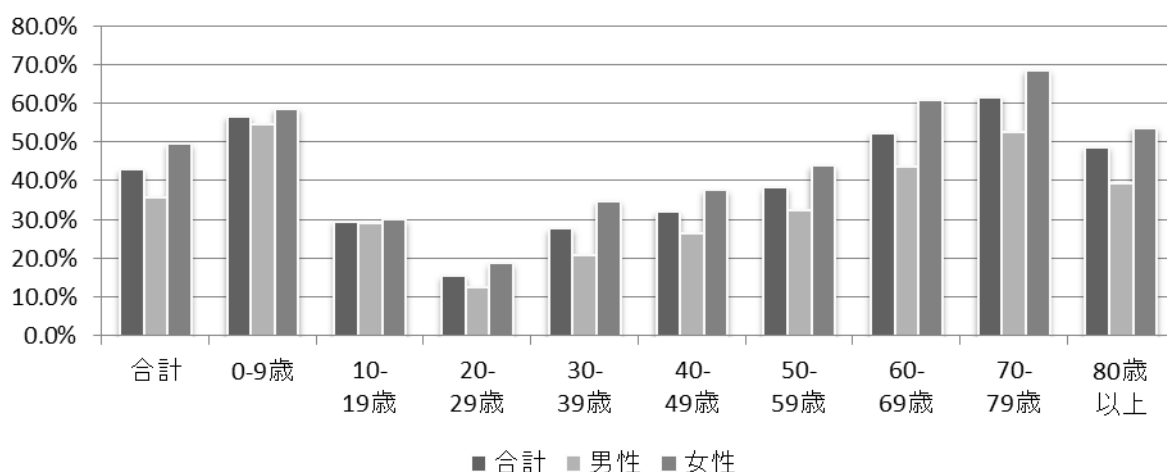
1.2 行事への参加状況

行事への参加は、20歳代が最も低く、年代が上がるにつれて高くなっている。男女別では、女性が高い。

表12 行事への参加

	人数	(割合)
参加している	8,098	(42.8%)
参加していない	9,996	(52.8%)
開催を知らない	822	(4.3%)
合計	18,916	(100.0%)

図12 参加している人の割合



1.3 要介護認定の状況

65歳以上に占める要介護・要支援認定者の割合は、15.4%であった。認定者の割合には、H23民賃調査と大きな違いはない。

認定者のうち、サービスを利用している人の割合は、60.3%であった。

表13 要介護認定の状況

	認定者数 (割合※1)	サービス利用あり (割合※2)	H23民賃調査 認定者割合※1
要支援1	282 (3.8%)	127 (45.0%)	3.2%
要支援2	227 (3.1%)	123 (54.2%)	
要介護1	216 (2.9%)	137 (63.4%)	3.7%
要介護2	150 (2.0%)	112 (74.7%)	3.5%
要介護3	115 (1.6%)	79 (68.7%)	1.9%
要介護4	84 (1.1%)	63 (75.0%)	1.8%
要介護5	58 (0.8%)	42 (72.4%)	0.8%
合計	1,132 (15.4%)	683 (60.3%)	15.0%

※1 65歳以上の高齢者数(今回調査7,347人、H23民賃調査5,848人)に占める割合。

※2 要介護・要支援認定者数に占める割合。

1.4 障害者手帳の有無

障害者手帳を持っている人は、合計で5.4%であった。男女別では男性が、年代別では年代が上がるにつれて高くなっており、80歳以上の男性では13.4%となっている。種別では身体障害が多い。H23民賃調査と比較すると、若干割合が高くなっている。

表14 障害者手帳の状況

	人数※1	(割合※2)	H23民賃調査※2
手帳あり	1,149	(5.4%)	3.6%
身体	946	(4.4%)	2.6%
療育	154	(0.7%)	0.4%
精神	142	(0.7%)	0.2%

※1 複数の手帳を所持している人や種別を記載していない人がいるため、合計は一致しない。

※2 年代ごとの有効回答数に占める割合。

図1.4 障害者手帳を持っている人の割合(※2)

